

大忘年会

クリスマスで年忘れ、皆で騒いで年越した！！

帯広信楽苑広報紙

きらきらきらきら



発行日
令和2年1月30日
発行責任者
施設長 伊藤 憲治
発行担当者
帯広信楽苑広報委員会
TEL0155-49-6300
ホームページ
<http://www.shinsyukyukai.jp>



今年は何が当たるかな

今回は、3階の忘年会の様子をご紹介します。12月18日、クリスマスツリーも登場し華やかな雰囲気の中、テーブルには石狩鍋・お刺身・ちらし寿司・デザートと豪華な料理が並び、シャンメリーを片手に全員でカンパイ！普段とは違う料理に利用者さんの食欲もいつも以上に増している様でした。

厳しい寒さが続いておりませんが、信楽苑では寒さを吹き飛ばすかの様に、12月に各階で盛大に忘年会を開催しました。



狩鍋でべはラーメンを提供。これが、利用者さんに大人気でおかわりをする方が続出でした！

「もう一つ初めての試みが：それは、あみだくじ！」昔懐かしの『あみだくじ♪』の歌に乗せいで抽選！景品が当たった利用者さんのみならず、職員も大盛り上がりでした。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後にこの一年健康に過ごせたことに感謝し一本締めで閉会しました。豪華な食事を準備して頂いた厨房の皆様に感謝致します。

(記事 長崎 弥恵)



食事も美味しゅうございました

文化祭

令和元年の文化祭が11月6日に華々しく催されました。集会所にて伊藤施設長より開催の言葉が述べられ、午前の部が始まりました。まずは音楽クラブによる



「紅葉」「故郷」の合唱で始まり長尾君枝様による「南部蟬しぐれ」の舞踊、利用者有志6名によるカラオケが続き、最後は大好評の職員による出し物でした。今回は、巷で社会現象にまでなった『パプリカ』でした。可愛いらしいパプリカの衣装が印象的で、元氣一杯のダンスで盛り上がりました。昼食は季節を感じさせる文化祭弁当が振舞われました。ちらし寿司・刺身・秋野菜の炊き合わせ等、見た目も食欲をそそる豪華なお弁当でした。利用者さんから「美味しい、うれしい」との言葉を頂きました。少し休憩を挟んで、午後からは、会場を3階に移し利用者さんが丹精込めて取り組んだ作品の数々を展示した会場巡りをしました。さくらユニット会

「紅葉」「故郷」の合唱で始まり長尾君



「南部蟬しぐれ」の舞踊、利用者有志6名によるカラオケが続き、最後は大好評の職員による出し物でした。今回は、巷で社会現象にまでなった『パプリカ』でした。可愛いらしいパプリカの衣装が印象的で、元氣一杯のダンスで盛り上がりました。昼食は季節を感じさせる文化祭弁当が振舞われました。ちらし寿司・刺身・秋野菜の炊き



場は、書道クラブ・華道クラブ・絵手紙クラブ・ねずみ年の和紙の壁飾りが展示され、かえでユニット会場は、手芸クラブ・塗り絵・折り紙工作・利用者さんと職員とで作り上げた貼り絵の大作が処狭しと展示されていました。また、1階の喫茶コーナーでは陶芸クラブの展示即売会が行われました。今年度も盛況のうち

に終了する事が出来ました。

(記事 雨山 はつえ)



職員の出し物「パプリカ」





と帯広市から記念品と賞状

岡崎うめ様100歳万歳

3月30日に100歳のお誕生日を迎える信楽苑最高齢の『岡崎うめ様』。お祝いを、令和元年10月1日に「家族・利用者さん数名・帯広市高齢者福祉課の職員・光南病院OTが同席し、一足早く100歳のお祝い贈呈式を行われました。

「100歳おめでとーございます、いつまでも長生きしてください」と、

「笑顔が素敵なく岡崎さん、いつまでも、お元気でいてください。」

(記事 関口 美幸)



が贈られました。ご家族様からも素敵な花が贈られ、



帯広コミセン祭り

操等のクラブ発表や、光南

11月3日に近隣にある帯広の森コミュニティセンターで「コミセン祭り文化祭」が開催されました。信楽苑で作成したキャラクターを2年前から出品していたこともあり、今回初めて利用者さん5名と見学してきました。



信楽苑のキャラクターが祭りに花を添えます

病院の健康体操、青空一座による歌、加藤流三絃会による三味線や民謡など、盛り沢山の内容でした。お菓子やジュースを頂きながらのんびりと鑑賞し、参加した利用者さんからは「楽しかった」「また来年も見に行きたい」と好評な言葉を頂きました。

(記事 前 賢太郎)



とうきび頂きました

9月3日、今年も市内で農業を営む高山様から「とうきび」を頂きました。朝に収穫した物を朝の内に届けて頂き、超フレッシュ!!甘みが落ちないように、直ぐに利用者さんと一緒に皮を剥き、茹でて、皆で頂きました。毎年、美味しいとうきび・枝豆・南瓜を有難うございます。

(記事 保科 慶子)



田心い出作い

六花亭

菊祭り

大衆演劇

9月13日～10月30日の期間に8班に分かれ総勢27名の方が、六花亭ガーデンの思い出づくりに参加されました。皆さん、思い思いに好きなスイーツやピザ等を喫食し「美味しいね」「たまにはいいね」と、とろけるスイーツの様な笑顔で大変喜ばれていました。六花亭ガーデンに初めて行かれた方もおり「いつ出来たの？立派だね」と店内を見渡し感激されていました。ガーデンが併設されましたが、皆さんスイーツの方に興味をそそられ、ガーデン鑑賞はせず、喫食後は「明日からの楽しみに買ってくの」「昔から好きだったお菓子なの」と買い物を楽しまれた。デザート・お菓子好きには大満足のひとつ時となりました。

(記事 井上 史三恵)

菊祭りを10月31日・11月1日に実施しました。午前・午後に分かれ、総勢10名の方が参加されました。皆さん、様々な菊を鑑賞し「奇麗だね」「すごいね」と感激していました。

今年の天候は晴れで、気温もさほど低くない陽気であった為、菊を鑑賞した後、屋内外でカボチャ団子のお汁粉などを喫食。皆さん「美味しいね」と完食されていました。花より団子？を楽しむ姿も見られ、いい思い出になったかなと感じました。会場内は、他の施設利用者も多く混雑していましたが、菊祭りの雰囲気存分に堪能して頂けたと思います。



(記事 藤澤 鈴恵)

冬がもうすぐそこまでやってきた11月下旬、十勝川温泉笹井ホテルにて「劇団三桝屋」による大衆演劇を鑑賞してきました。午前は歌と踊りの歌謡ショーを鑑賞。音楽に合わせ、しなやかな腰さばきで踊る姿に、思わず歓声上がる利用者さんもおいらっしやいました。昼食を挟み、午後からは演劇を鑑賞。親子愛がテーマの演劇で、笑いあり涙ありのストーリー。最後は「めでたしめでたし」で終わり、会場全体で拍手喝采。約半日に渡る見応えのある演劇鑑賞でしたが、最後まで見入って楽しまれ「また来年も見たいね」と口を揃える皆さん。芸術の秋にふさわしいひと時を過ごすことが出来ました。

(記事 高橋 雅子)

大衆演劇



菊祭り



六花亭



ゲーム大会 生活の活力です

1階

11月27日1階利用
者さん15名の参加
にて、毎年恒例
のフロアゲーム大
会を開催しました。

今回は、集会室を会場にし
て、クジ引きを行い、紅白
に分かれ2種目の対抗戦を
実施。始めに、小ささまざ
まなボールを使用し、レン
グとお盆を巧みに操ってリ
レーをして頂きました。そ
して、職員2名が頭上に高
く籠を持ち上げ、激しく動
き回っている所への玉入れ
も、皆さん白熱されており
ました。人数調整の為に借
り出された相談員。チーム
からは「何やってるの、早
く!」との声が聴かれ、興
奮冷めやらぬ内にお開きと
なりました。どの競技も
「楽しかった。」と声が聞
かれ大盛況で終わりました。

(記事 吉田 一絵)

2階

11月24日2階フ
ロアゲーム大会・
ユニット対抗戦
「お魚すくってホ
イツ&ポンポン玉
リレー」を開催しました。

1ゲーム目のお魚すくって
ホイッでは、テーブルに並
べた魚をどちらが早くすく
い集められるかを競い、2
回戦行って両チーム引き分
け。2ゲーム目のピンポン
玉リレーは、5個のピンポ
ン玉をおたまで次の方へ渡
し、どちらのチームが早く
ゴールに5個入れる事がで
きるかの勝負。職員が驚く
ほど上手にピンポン玉を運
び、接戦の末はまなすユニッ
トの勝利となりました。ゲー
ム後はジュースで乾杯!
「楽しかった、結構簡単だつ
たよ」との言葉が聞かれ、
大盛況のなか終了しました。

(記事 松川 えりか)

3階

10月27日に3階
ゲーム大会が開催
されました。かえ
でチームとさくら
チームに分かれ、
18名の利用者さんに参加し
ていただきました。ハロウイ
ンが近いと言う事もあり、
「ハロウィンを味わおうラ
ンタンリレー」と「風船め
がけてボール投げ」を行
いました。ランタンリレーは、
小さなカップを割り箸で隣
の人に渡していくリレー方
式。風船めがけてボール投
げは、皆で輪になり、真ん
中に置いてある風船にボー
ルを投げが一番近くにボー
ルがあつた方が勝ちという
もので、結果は70対80でさ
くらチームの勝利でした。
終了後は、職員と共にジュ
ースを飲み、「ランタン可愛
いね」などと話しながら和
やかに過ごしました。

(記事 中谷 幸子)



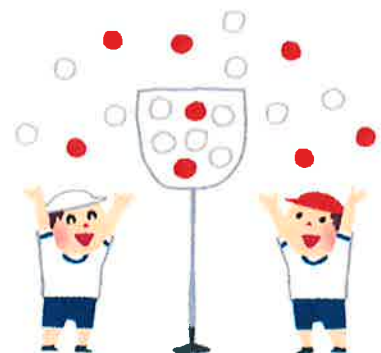
風船割れるかな!?



お玉でピンポン玉リレー!



白熱の玉入れ!



謹賀新年



謹んで新春のお慶びを申し上げます

施設長 伊藤 憲治



新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

旧年中は養護老人ホーム帯広信楽苑に対しまして、ご利用者様、ご家族様、並びに地域の皆様からの温かいご支援とご協力を賜り、無事新春を迎えることができましたことを心より御礼申し上げます。昨年は元号が令和となり新

「今でも・・・」
13年前、私の兄の部屋をいつも散らかして娘。娘はまだ幼児だったとは云え酷い散らかし方だったのに、兄は黙って片付けていました。私は

ちよつと...

仄々(ほのぼの)



「弟には怒っていた」、厳しい兄のイメージがあり、

の娘に食事を取るとの娘に食事を取るように、ブルを片付け、帰

その姿を見て、驚きました。13年経ったある日、兄が私

「事だ？」と思わせるような兄の動きに噴き出してしまいました。あれから、長い年月が経ちましたが年齢を感じさせない関係に自然と笑顔になりました。

(記事 早坂優子)

しい時代がスタートいたしました。相変わらず台風等の自然災害が猛威を振るい、そのための備えの大事さを痛感させられた年でもありました。また、団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、『超高齢社会』を迎える2025年問題等を控え、年金支給年齢の引き上げ、介護自己負担額の引き上げ、補足給付の制限に加え、医療についても、後期高齢者の窓口負担の引き上げや外来受診時の一定額の負担上乘せ等を提案することが検討されています。

このような制度利用が厳しさを増していることとする中で、地域や家族の役割がより重要となりますが、地域では相互に支え合う力が失われて来ておりますので、地域のセーフティネットである養護老人ホームの役割は今後より一層重要性を増していくことと思われれます。

今年庚子年、暦字では昨年に取り組んできたことを引き継いで、正すべき点は更新して確立していくと同時に、温めてきたものが茂るかの如く確立していく年であると言われております。地域におけるいわば「放っておけない」高齢者を支え続けてきた養護老人ホームの存在意義を再確認し、地域に寄り添い支え合う施設として、皆様方の健康増進・介護予防に努めるとともに、職員一丸となって地域福祉の向上発展に微力ではありますが取り組んで参りますので、今後とも皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

インフルエンザに注意を



冬は空気が乾燥する為インフルエンザが流行する季節です。予防としては体力の維持、ウィルスを持ち込まない、蔓延を防止する事が大切です。十分な栄養を摂り、適度に体を動かし元気で寒い冬を乗り切りましょう。インフルエンザ流行状況により、面会を制限させて頂く場合もございますので、ご了承下さい。

(記事 丸岡 尚子)

編集後記

1月20日は大寒でした。大きく寒いと書くことから、一年で最も寒い時期とされておき、大寒が終わると次は「立春」、すなわち暦の上では春がやってくることになっていきます。2月4日が立春です。まだまだ寒さは続きますね。

(編集長 田名部 剛士)